



山口県内の経済情勢

令和 7 年 4 月 22 日

財務省中国財務局
山口財務事務所



ざいちゅう

本調査についてのお問い合わせ先：
財務省中国財務局山口財務事務所
財務課長 石田
TEL：(083) 922-2190(代)

HP 掲載先：
[https://lfb.mof.go.jp/chugoku/yamaguchi/
chousatoukei/jouseitop.htm](https://lfb.mof.go.jp/chugoku/yamaguchi/chousatoukei/jouseitop.htm)



調査結果は、こちらからも
確認できます。

1. 総論

【総括判断】

「県内経済は、緩やかに回復しつつある」

項 目	前回（7年1月判断）	今回（7年4月判断）	前回 比較
総括判断	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある	→

（注）7年4月判断は、前回7年1月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、緩やかに回復しつつある。生産活動は、持ち直しつつある。雇用情勢は、緩やかに改善しつつある。

【各項目の判断】

項 目	前回（7年1月判断）	今回（7年4月判断）	前回 比較
-----	------------	------------	----------

個人消費	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある	→
生産活動	持ち直しつつある	持ち直しつつある	→
雇用情勢	緩やかに改善しつつある	緩やかに改善しつつある	→

設備投資	6年度は前年度を上回る見込み	6年度は前年度を上回る見込み	→
企業収益	6年度は減益見込み	6年度は減益見込み	→
企業の 景況感	「上昇」超に転じる	「下降」超に転じる	↔
住宅建設	前年を上回る	前年を上回る	→
輸出	前年を上回る	前年を上回る	→

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境の改善や、各種政策効果が緩やかな回復を支えることが期待されるが、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクが高まっている。加えて、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響なども、景気を下押しするリスクとなっている。また、金融資本市場の変動等の影響に一層注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「緩やかに回復しつつある」

百貨店・スーパー販売、ドラッグストア販売は飲食料品、家電大型専門店販売はエアコン、ホームセンター販売は暖房器具、コンビニエンスストア販売は総菜などが堅調であることから、前年を上回っている。また、乗用車販売は軽乗用車などが堅調であることから、前年を上回っている。

(主なヒアリング結果)

- 例年より寒い日が多かったため、鍋ものやおでんの具材がよく売れていた。これからの行楽シーズンに向けて、オードブルなどの予約状況も好調である。一方で、お米や野菜価格の高騰が続いており、特売日に、よりお得にまとめ買いをする人が増えているなど、消費者の節約志向が強まってきたと感じる。(スーパー)
- お米は高値が続いているものの引き続きよく売れているほか、この冬はインフルエンザや胃腸炎などが流行したため、医薬品やアルコール消毒液などの売上が好調だった。また、花粉の飛散が非常に多かったため、マスクや花粉対策スプレー、目薬などの売上也伸びていた。一方で、ポイントデーを活用してまとめ買いをする人が増えているなど、最近では、よりお得感を求める傾向が強まってきたと感じる。(ドラッグストア)
- 12月以降冷え込みの厳しい日が多かったことや、電気代の高騰が続いていたため、省エネタイプのエアコンがよく売れていた。(家電大型専門店)
- 例年になく寒い日が続いたため、セラミックヒーターや大型ストーブなどの暖房器具がよく売れていた。(ホームセンター)
- 健康志向の高まりから、手軽に野菜がとれる小容量の総菜やサラダなどが好調だった。(コンビニエンスストア)
- 一部の自動車メーカーの生産台数の回復に伴い、軽乗用車などの販売台数が増加している。(自動車販売店)
- 4月から開催される大阪・関西万博にあわせた旅行予約が好調であるなど、旺盛な旅行需要が続いている。(旅行代理店)

■ 生産活動 「持ち直しつつある」

鉄鋼は建材向けなど、化学は医薬品の減少に加えインフラ向けなどが低調であることから、減少している。

汎用・生産用・業務用機械は産業用ロボットなど、輸送機械は海外でのSUV車種に対する需要が堅調であることから、増加している。

- 人件費や資材価格の高騰による建設コストの上昇などにより建設需要が低迷していることから、建材向けの生産量が減少している。(鉄鋼)
- 依然として中国の不動産市場が回復していない影響などを受け、海外のインフラ向けで需要が低調なことから、生産量が減少している。(化学)
- 物流業界の人手不足問題への対応策として、商品の運搬などを行う物流ロボットに対する需要の高い状況が続いていることから、生産量が増加している。(生産用機械)
- 海外でのSUV車種に対する需要が堅調なことに加え、新型車を投入した効果などから、生産量が増加している。(輸送機械)

■ 雇用情勢 「緩やかに改善しつつある」

有効求人倍率は、引き続き高めに推移している。

新規求人数は、卸売・小売業などで減少しており、前年を下回っている。

- 募集するものの必要な人数を集めることが出来ないため、採用条件を緩和して募集を始めたほか、単発で短時間働くスポットワーカーを活用することにより、人手不足の解消に努めている。(小売)
- 人手不足解消のため、お掃除ロボットや配膳型ロボットを活用するなど、省人化に取り組む事業所が増えている。(公的機関)

■ 設備投資 「6年度は前年度を上回る見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」7年1-3月期

- 製造業は、情報通信機械などで減少するものの、生産用機械、化学などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。
- 非製造業は、鉱業・採石等などで増加するものの、宿泊・飲食サービス、小売などで減少することから、全体では前年度を下回る見込みとなっている。

- 半導体市況の回復を受け、半導体製造装置に対する需要が高まっており、工場の新設や生産設備の導入など、生産能力増強投資を進めている。(生産用機械)
- 前年度は新たに配食サービス業に参入したことにより、設備や備品の導入などに多額の設備投資が必要であったものの、6年度は設備の維持更新が中心だったことから、前年度と比較すると設備投資が減少している。(宿泊・飲食サービス)

■ 企業収益 「6年度は減益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」7年1-3月期

- 製造業は、生産用機械などで増益となるものの、電気機械、情報通信機械などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。
- 非製造業は、建設などで減益となるものの、学術研究・専門・技術サービス、宿泊・飲食サービスなどで増益となることから、全体では増益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『下降』超に転じる」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」7年1-3月期

- 企業の景況判断 BSI は、「下降」超に転じている。なお、先行きは「上昇」超に転じる見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を上回る」

- 新設住宅着工戸数は、分譲住宅、持家などが増加していることから、前年を上回っている。

■ 輸出 「前年を上回る」

- 輸出(円ベース)は、自動車、一般機械などが増加していることから、前年を上回っている。地域別では、北米、中南米などで増加している。
なお、輸入(円ベース)は、原油及び粗油、石炭などが減少していることから、前年を下回っている。地域別では、中東、北米などで減少している。

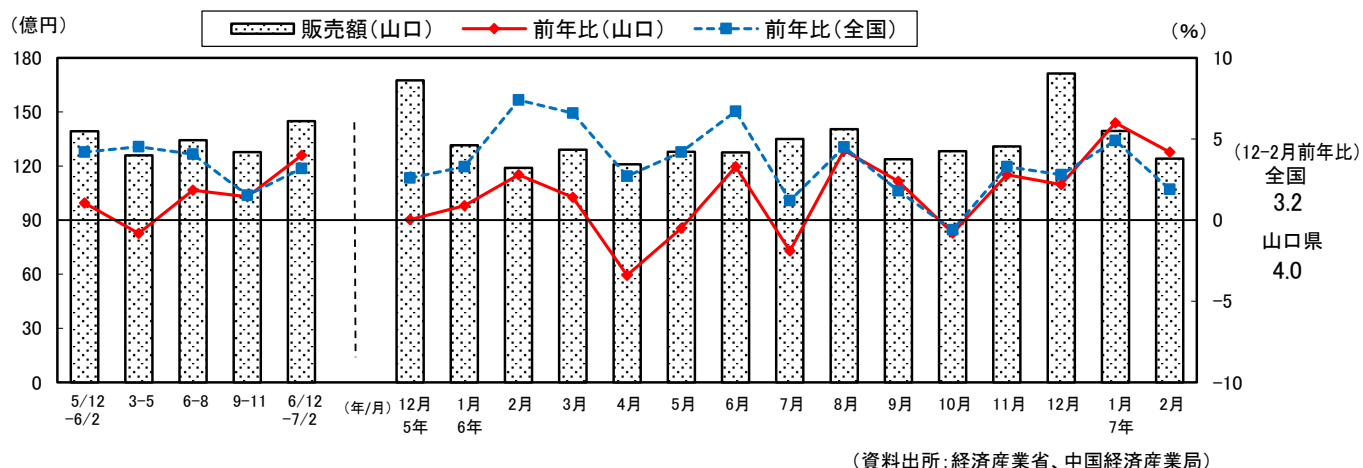
資 料 編

目 次	ページ
1. 個 人 消 費	1
2. 生 産 活 動	3
3. 雇 用 情 勢	4
4. 設 備 投 資	5
5. 企 業 収 益	6
6. 企業の景況感	6
7. 住 宅 建 設	6
8. 輸 出	7

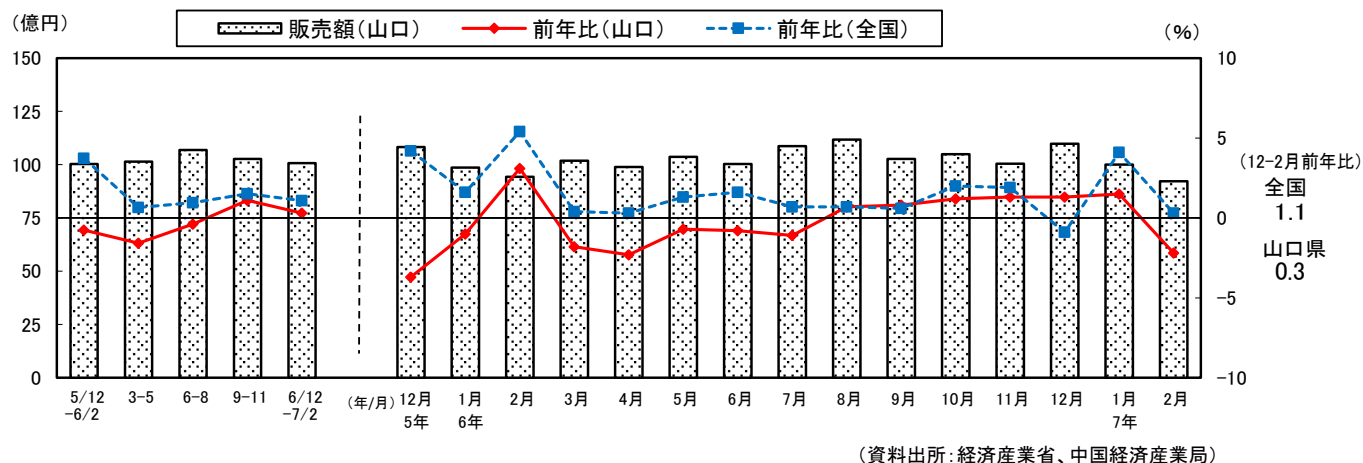
1. 個人消費 緩やかに回復しつつある

(1) 百貨店・スーパー販売額(全店舗)

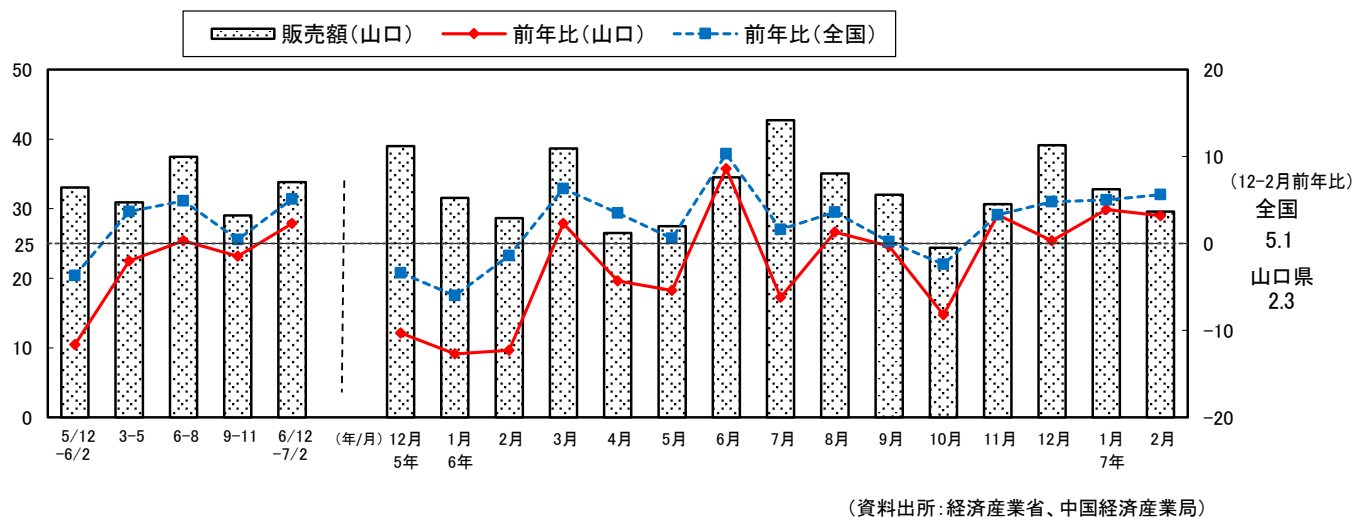
(注) (1)～(5)の各グラフの3か月毎の販売額は、1月あたりの平均を表示。



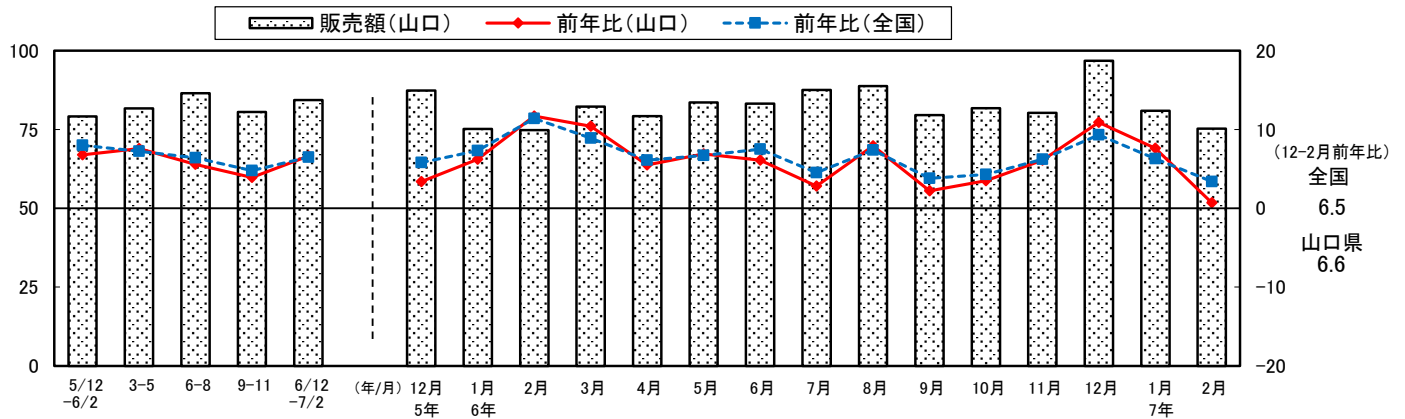
(2) コンビニエンスストア販売額(全店舗)



(3) 家電大型専門店販売額(全店舗)

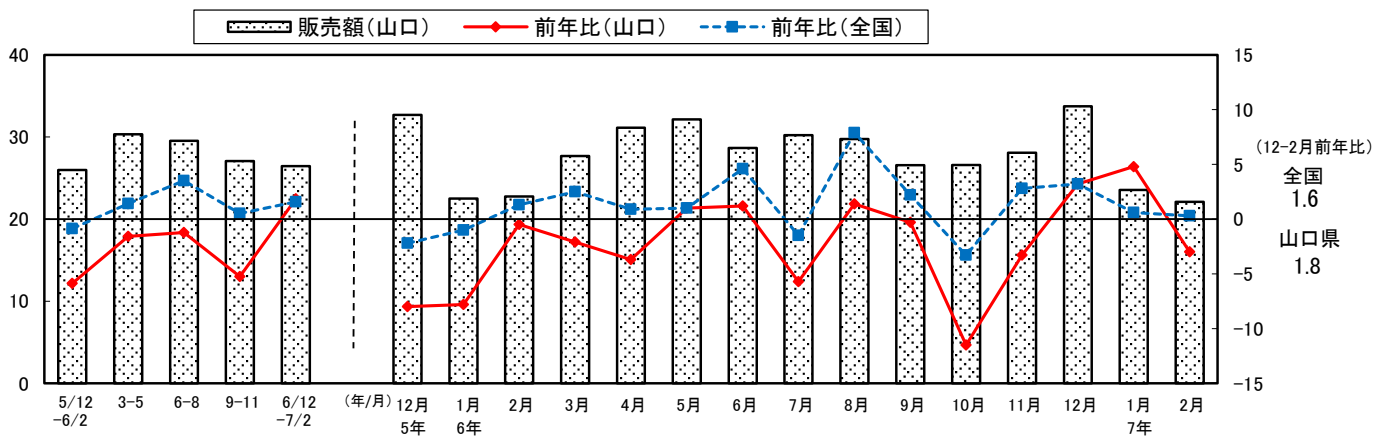


(4) ドラッグストア販売額(全店舗)



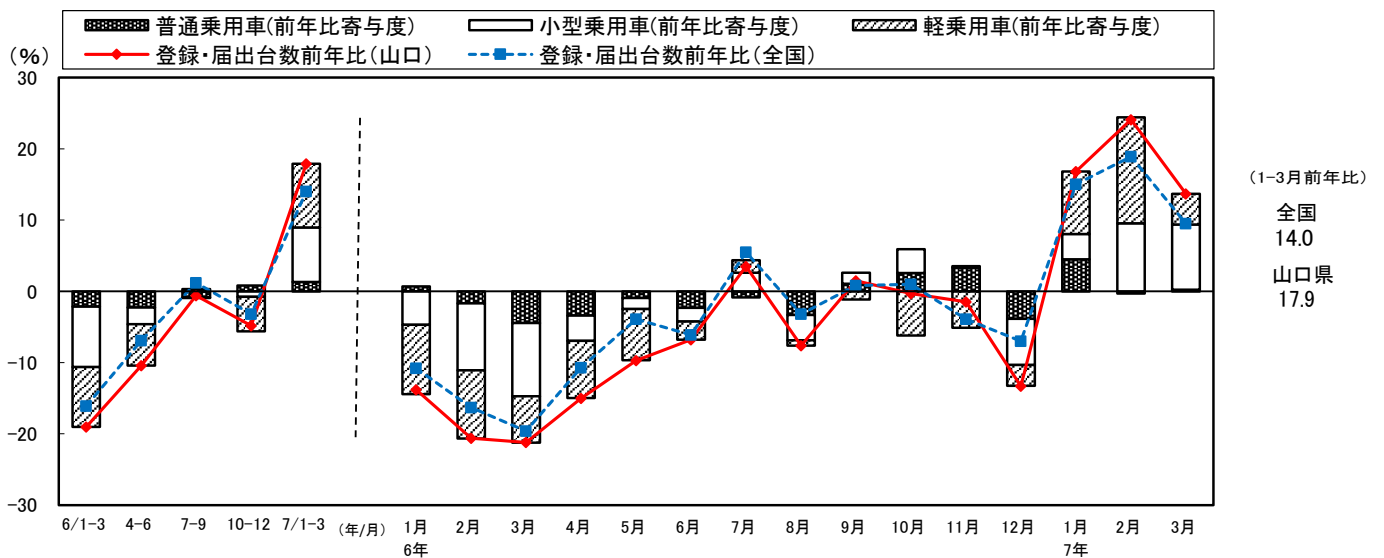
(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

(5) ホームセンター販売額(全店舗)



(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

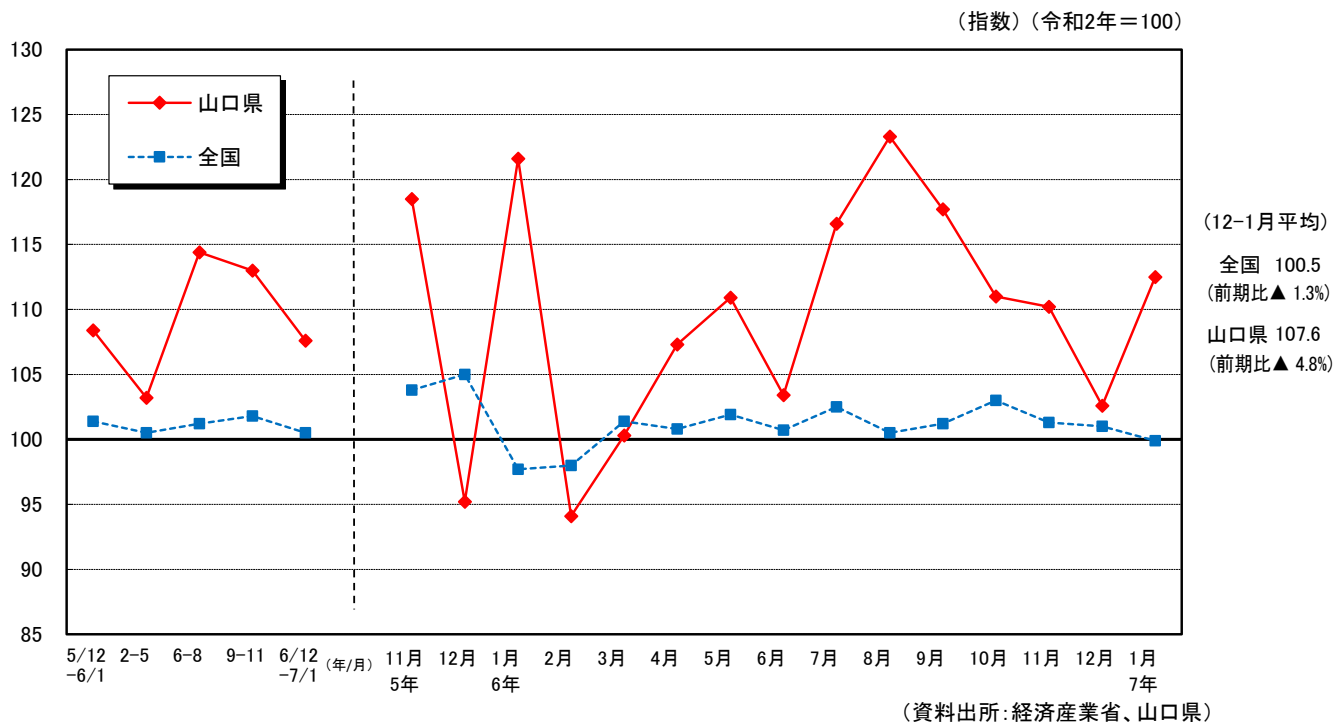
(6) 乗用車販売(新車登録・届出台数)



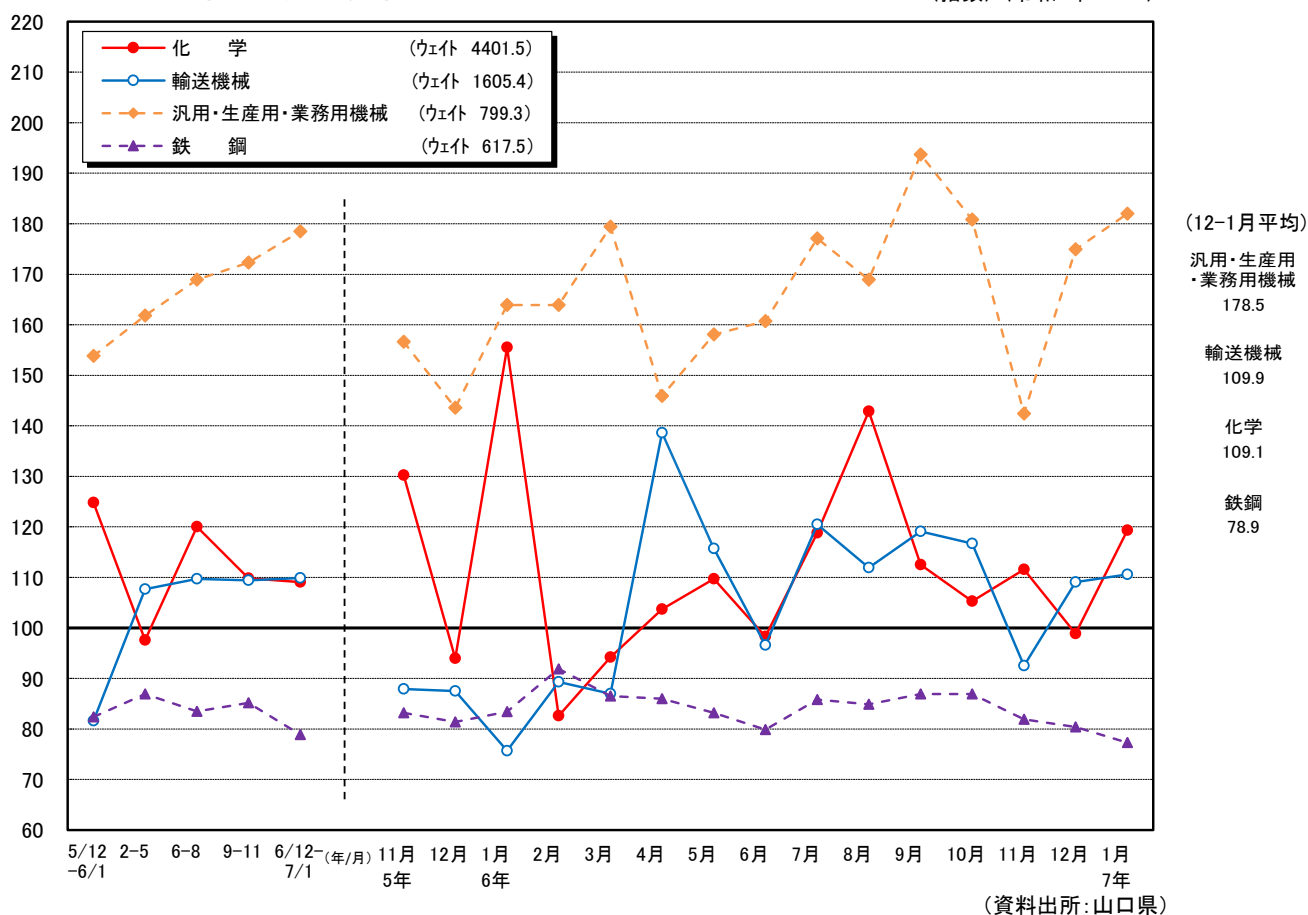
(資料出所: 中国運輸局)

2. 生産活動 持ち直しつつある

(1) 鉱工業生産指数(季節調整値)



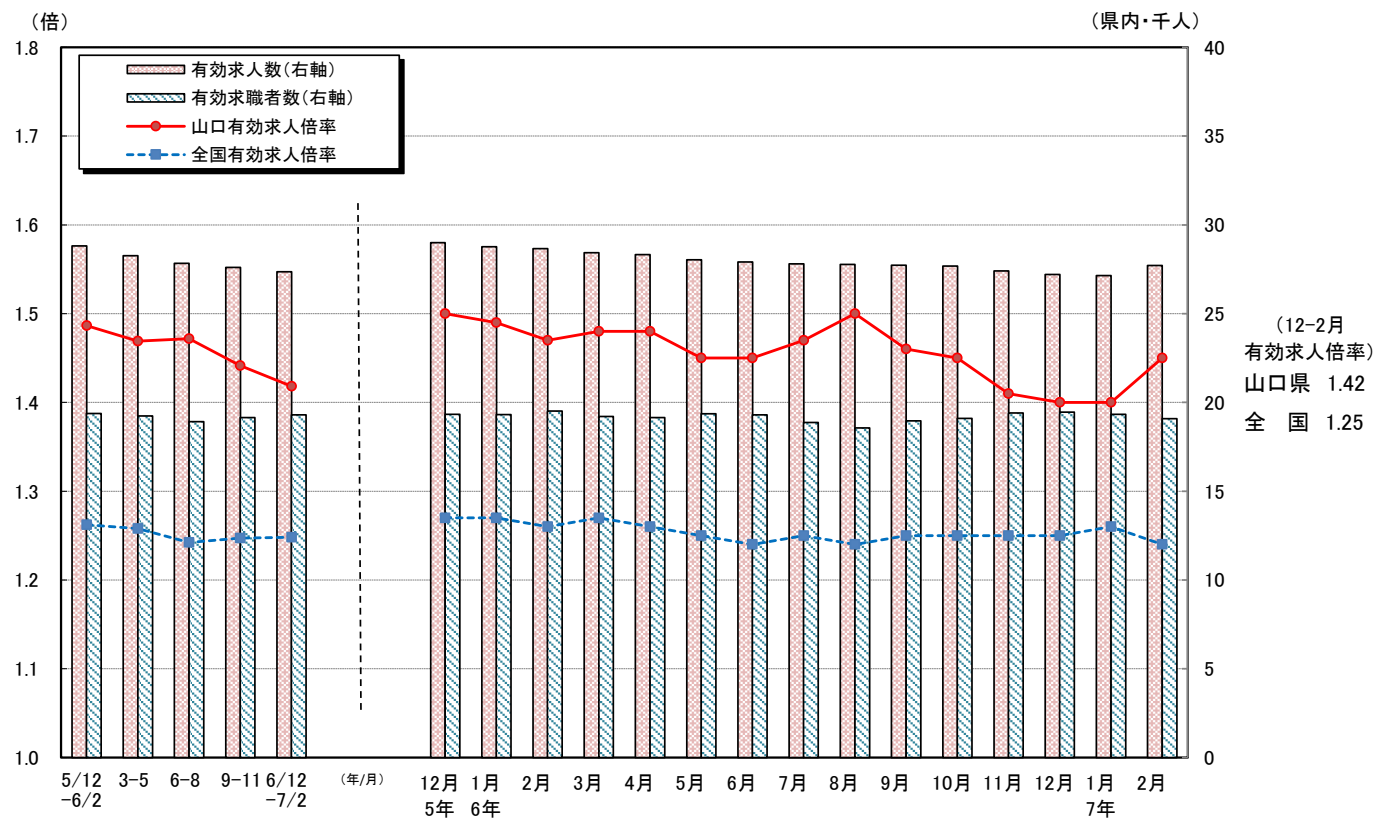
(2) 県内主要業種別生産指数(季節調整値)



3. 雇用情勢 緩やかに改善しつつある

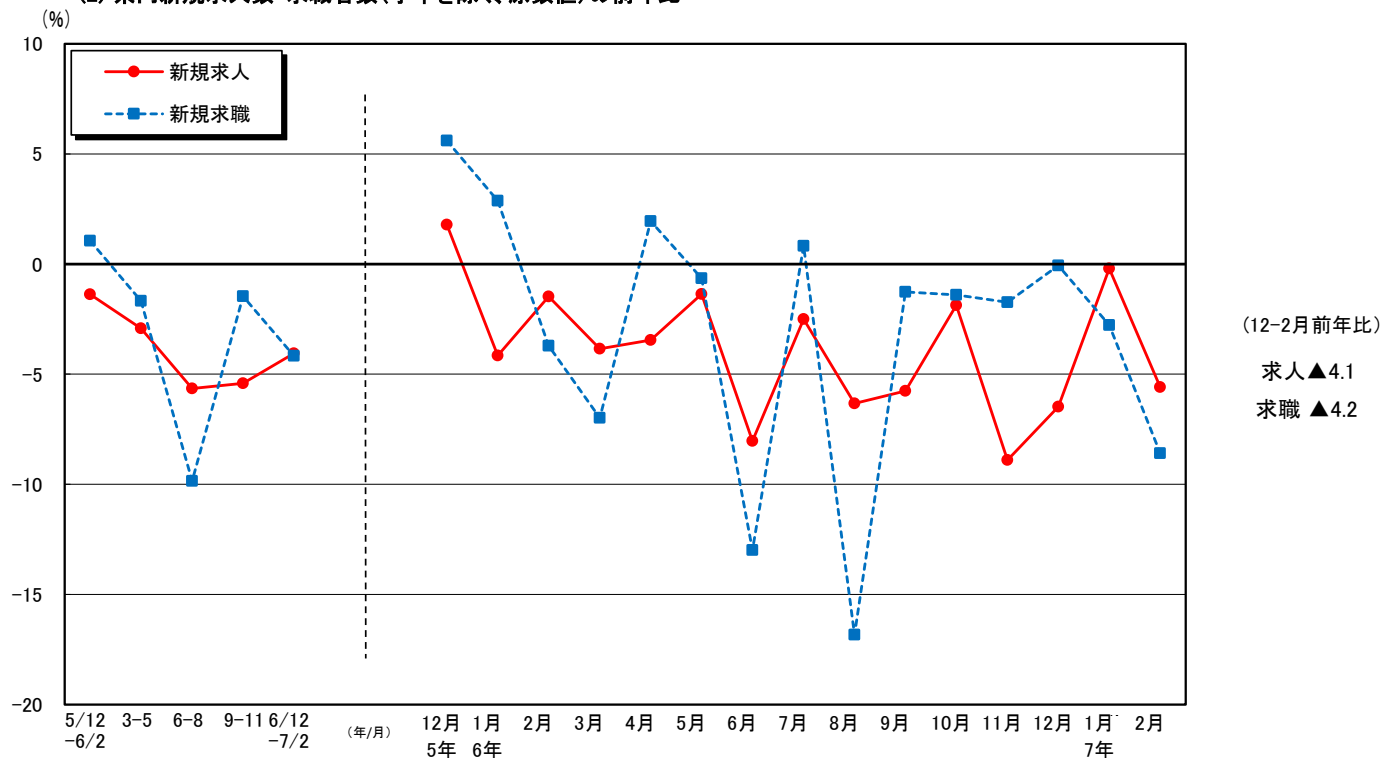
(注) (1)のグラフの3か月毎の有効求人人数と有効求職者数は、1月あたりの平均を表示。

(1) 有効求人倍率、有効求人人数・求職者数(学卒を除く、季節調整値)



(資料出所:厚生労働省、山口労働局)

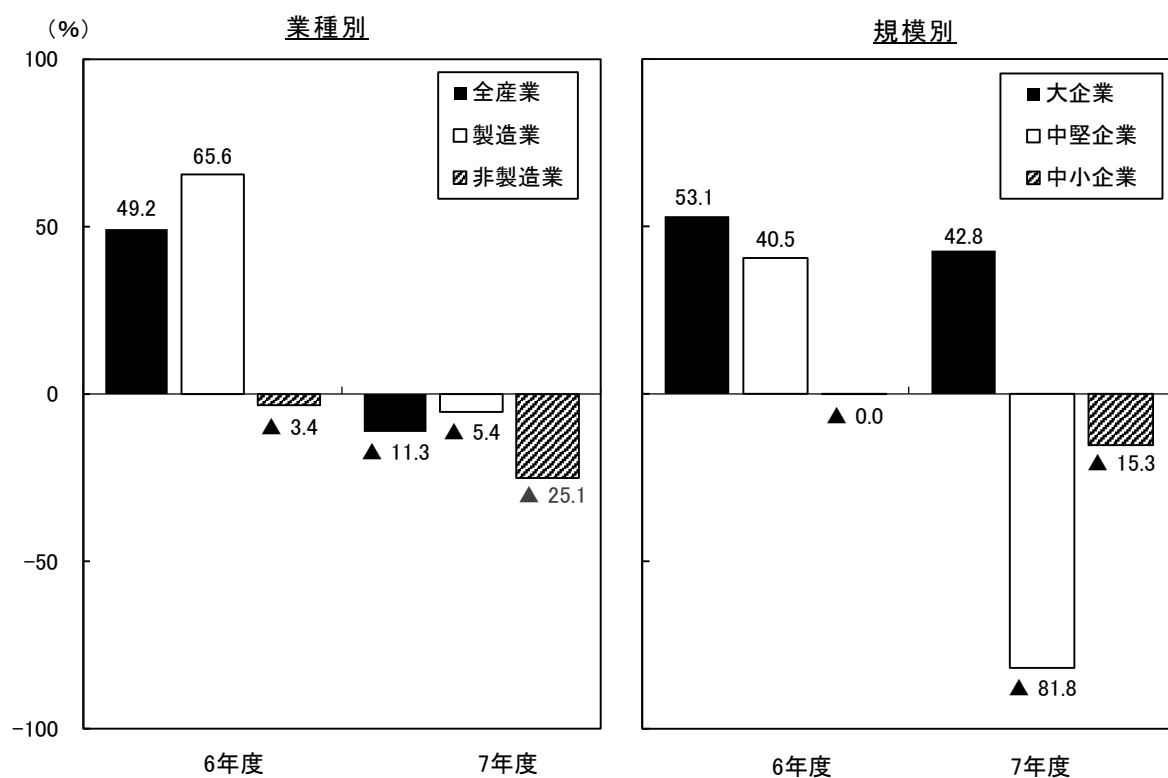
(2) 県内新規求人人数・求職者数(学卒を除く、原数値)の前年比



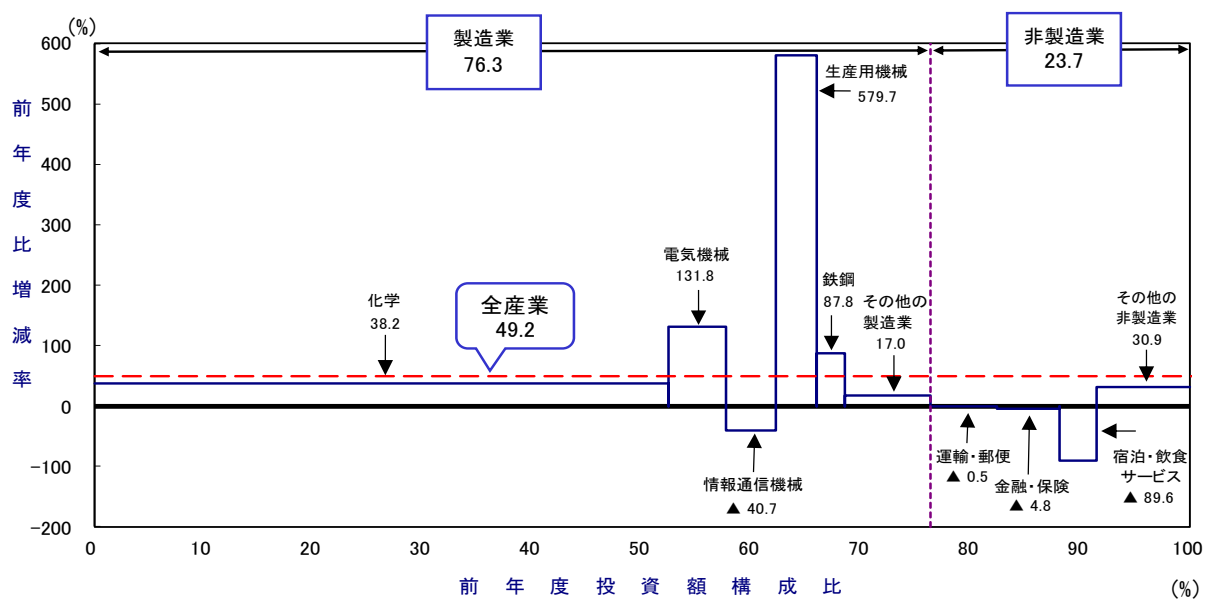
(資料出所:山口労働局)

4.設備投資 6年度は前年度を上回る見込み

(1) 設備投資額(前年度比)



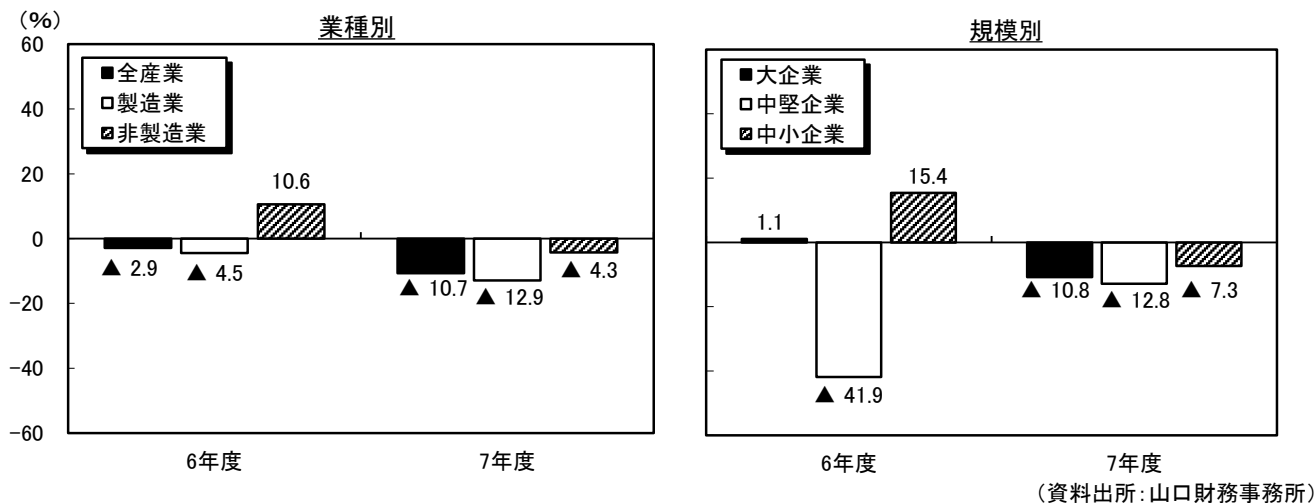
(2) 主要業種別(6年度)



(資料出所:山口財務事務所)

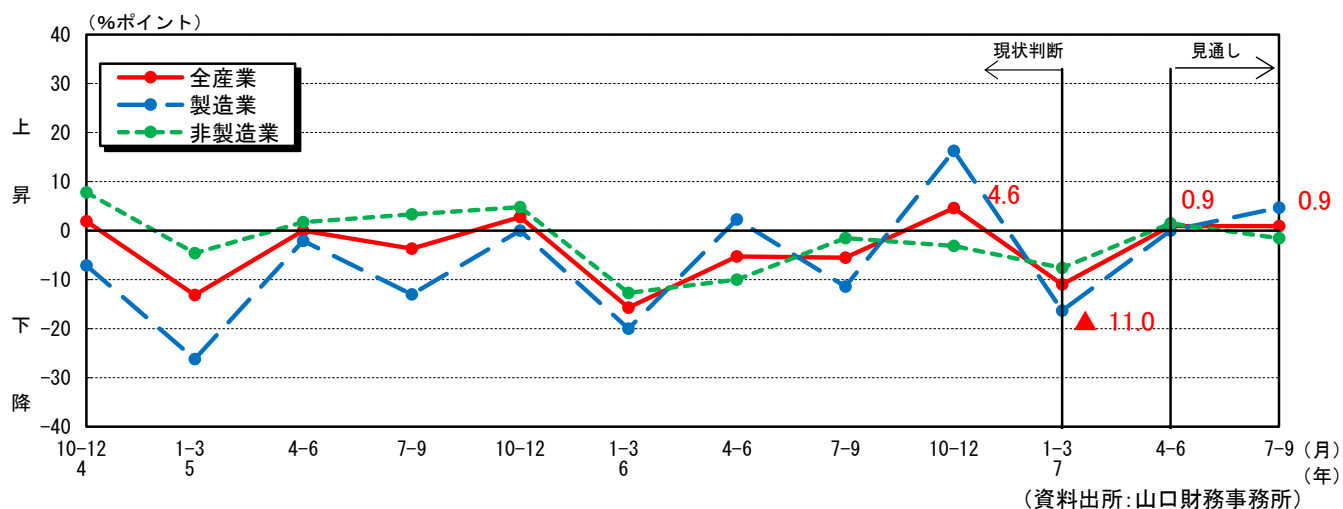
5. 企業収益 6年度は減益見込み

経常利益(電気・ガス・水道業、金融業、保険業を除く: 前年度比)



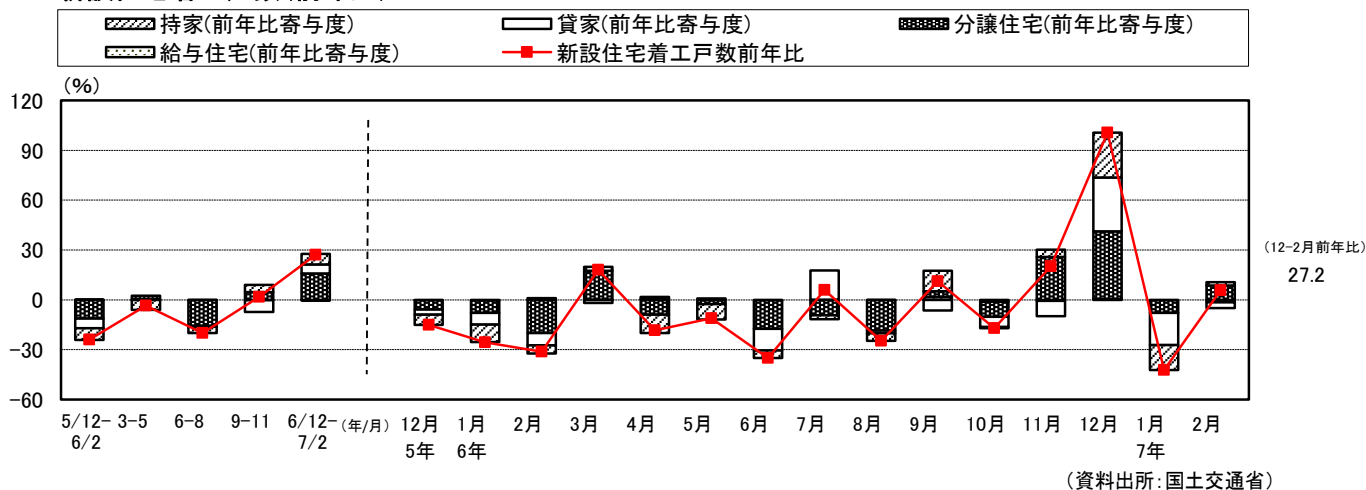
6. 企業の景況感 「下降」超に転じる

景況判断BSIの推移(原数値) (BSI: 前期比判断「上昇」-「下降」社数構成比)



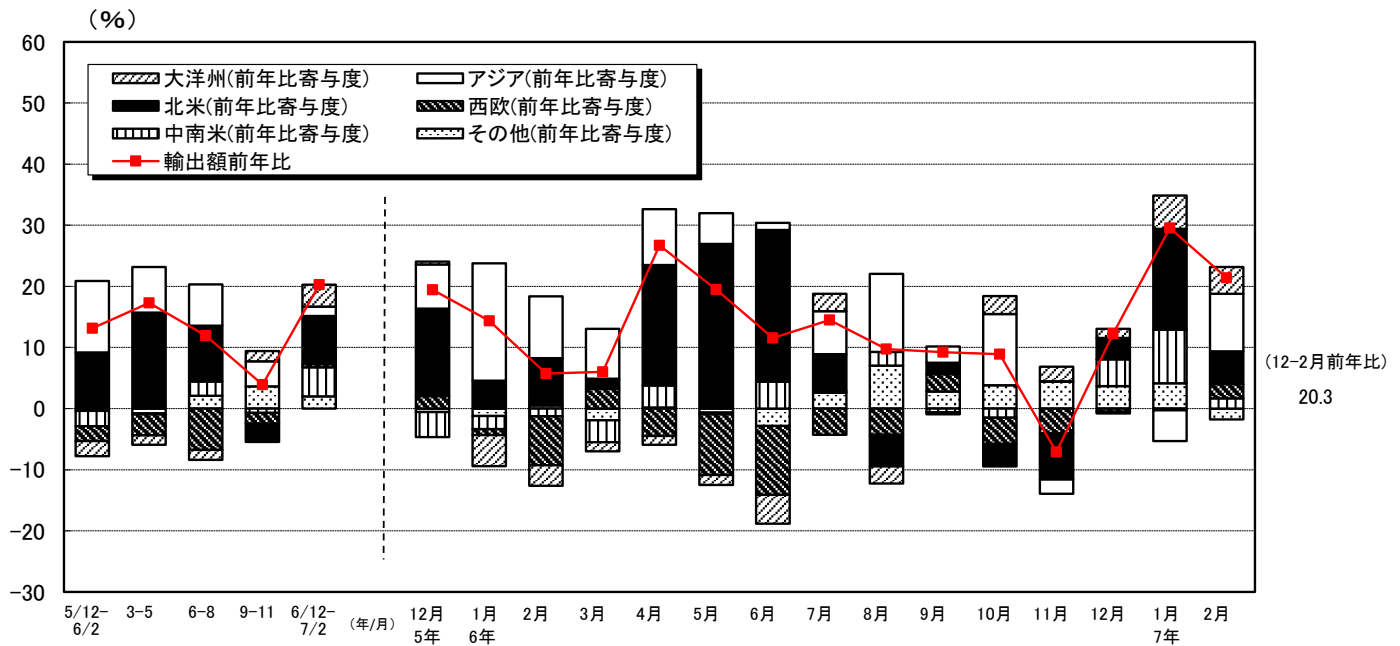
7. 住宅建設 前年を上回る

新設住宅着工戸数(前年比)



8. 輸出 前年を上回る

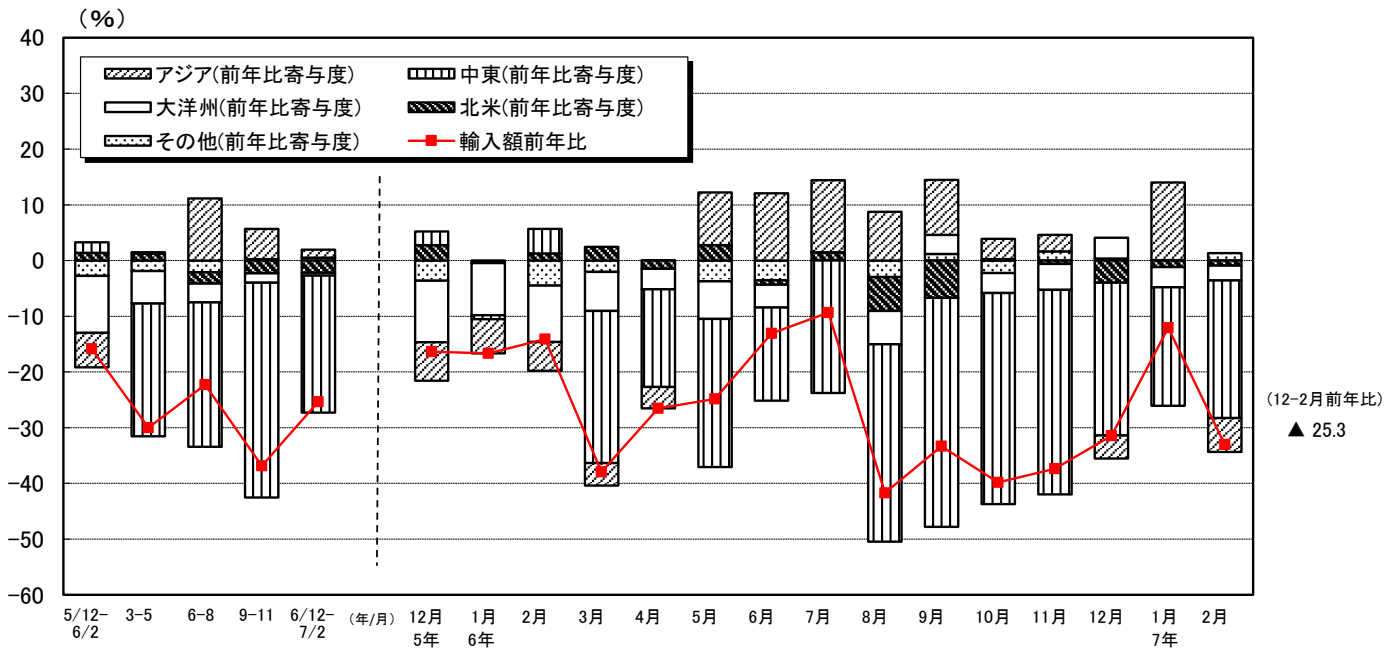
輸出(円ベース)



(資料出所: 神戸税関、門司税関)

<参考>

輸入(円ベース)



(資料出所: 神戸税関、門司税関)